

【学校長コラム】 気づき、考え、判断し、行動するすばらしさ...

昨日、大子町は最高気温31.7度、今年初の真夏日でした。

午前中の段階で、熱中症の症状で体調を崩す児童も少々いました。

昼休み、体育の授業、外での活動をどうしようかな...と考える悩ましい天気。

「どうするか...」と職員で相談したところ、「気をつけることを放送して、子どもたちに任せましょう!」との声。以下の放送をしました。

- ①外に出るときは、半袖短パンになりましょう。
- ②外に出る前には、必ず水分を十分に摂りましょう。
- ③外で遊ぶときには、マスクを外しましょう。
- ④少しでも調子が悪いと思ったら、すぐに先生に伝えましょう。

そして、昼休み。半袖短パンの児童が、笑顔で校庭に駆け出してきました。一際目立つのは「体の大きな6年生」たち...。男子も女子も半袖短パンで、楽しそうに鬼ごっこで校庭を走り回ります。

校庭が「白一色」になりました。大ケヤキの緑、初夏の空の青に映えています。その姿は、輝いていました。

直前に入った放送の意味をしっかりと考え、行動に移してくれた6年生。その姿を下級生が見ています。そして、よりよい行動について学んでいるのですね。

何気ない学校生活の一場面。その中で、たまたま放送された「熱中症防止」の意味を「しっかりと気づき、考え、判断し、行動」した6年生。すばらしいと思います。

その姿が、自分たちを成長させ、周囲の下級生を育て導いているのだと感じます。

学校生活の中での、一つ一つの何気ない場面の中に、児童の成長のきっかけがあります。そこを見逃さず、大切にしながら、日々の学校生活を児童とともに楽しみながら、成長のキッカケにしていきたいと思います。

